

素案への審議会意見に対する方向性（案）

資料1

【基本構想（素案）】第4回審議会（2018/11/1開催）資料

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案) 修正前	意見	意見に対する方向性（案）	修正後
1	第3回審議会	委員	I はじめに	5	5	2 まちの現状と課題	1. 豊郷町の地域概況	(2) 町の人口と今後の予測	-	豊郷町内にサービス付き高齢者住宅が数棟できているが、それに伴い他町から高齢者の流入が見られる。人口の自然増加ではない、高齢者の流入による増加の数値があるのか。受け入れ側として、十分に検討していただきたい。	65歳以上高齢者の介護については住所地特例によって介護保険に影響はない。しかし、障害福祉サービスについては住所地特例がなく、転入者が65歳以上となった場合も町の介護保険の対象となるため、町財政に影響を与える。したがって、国・県へ制度改正等を要望しているところである。	-
2	第4回審議会	委員	I はじめに	10	10	2 まちの現状と課題	2. まちをとりまく動き	(5) ③ 行財政改革の推進	公共投資については引き続き費用対効果に関する評価を行い改革を推進するとともに、・・・行政システムの改善、行政組織の改革に取り組む必要があります。	・公共投資に限らず「全ての事業において評価を実施する」のような文言にしてみようか。 ・豊郷町では、行政評価システムの確立はまだなので「行政評価システムの構築」としてはどうか。 ・「行政組織の改革」の箇所については、「公民連携の推進等に取り組む」と具体的に記載してみようか。	指摘の通りに修正する。	すべての事務事業については引き続き費用対効果に関する評価を行い改革を推進するとともに、・・・行政評価システムの構築、PPP（公民連携）等に取り組む必要があります。
3	第3回ご意見シート	委員	I はじめに	25	25	2 まちの現状と課題	4. まちづくりの課題	(1) 子育て環境のよさを活かす	-	「公園の保全」 雑草などが伸びたまま放置されているような気がする。公園がたくさんあるが、保全環境がよくないと遊びたくても遊べず危険だと思う。	児童遊園については、原則として自治会による管理をお願いしている。	-
4	第3回ご意見シート	委員	I はじめに	25	25	2 まちの現状と課題	4. まちづくりの課題	(1) 「子どもが遊べる場所作り」	-	地域におけるコミュニケーションの場として各集会所があるが、子どもたちが、「そこに行けば安心して遊べる」、「だめなことにはだめ」と普通に言ってくれる大人がいる、そんな場所を作れるような取り組みはできないだろうか。	基本構想P32、基本計画P4「子どもが安心して遊べる場づくり」として反映済みと考える。	-
5	第3回ご意見シート	委員	I はじめに	25	25	2 まちの現状と課題	4. まちづくりの課題	(2) 地域共生社会の実現	-	空き家・空き店舗の活用。	意見反映済みと考える。	-
6	第3回ご意見シート	委員	I はじめに	25	25	2 まちの現状と課題	4. まちづくりの課題	(2) 地域共生社会の実現	-	「専門職の確保」 例えば、医師、保育士、介護福祉士（介護職員）などを確保していく必要性。 ①町をPRをして転入者が増えたとしても、まちが対応できる体制の必要性。 ②介護職員の不足に伴うサービス事業所の存続の危機を感じる。介護サービスを利用したくても利用できない、いわゆる「介護難民」の増大への懸念。	ニーズに応じて必要な分野における人材の確保を図りたいと考える。	-
7	第3回ご意見シート	委員	I はじめに	26	26	2 まちの現状と課題	4. まちづくりの課題	(3) 暮らしの安全・安心の確保	-	「道路改良整備」 地域（字）により道路の狭い所が多くあり、地域防災・安全面に欠ける所があるため、改良が必要だと思う。	意見反映済みと考える。	-
8	第3回ご意見シート	委員	I はじめに	26	26	2 まちの現状と課題	4. まちづくりの課題	(3) 暮らしの安全・安心の確保	-	「道路改良整備」 国道8号線から役場までの道路幅を拡げること。特に、大型車が対向できるよう、早く二車線にすることが大切だと思う。	意見反映済みと考える。	-
9	第3回ご意見シート	委員	I はじめに	26	26	2 まちの現状と課題	4. まちづくりの課題	(3) 暮らしの安全・安心の確保	-	「交通環境の向上」 特に、豊郷アストから中山道へ出たところのT字路が混み合う。事故が発生して危険なため、信号を設置するなどして、交通循環を改善する。このような箇所は他にもあると思う。	意見の趣旨をふまえ、右記の通り追加する。	基本計画旧P43 ◇「危険箇所が解消されるよう、住民の利用の多い県道・生活道路について、改良整備の要望を続けます。」を追加する。
10	第4回審議会	委員	-	全般	全般	-	-	-	-	障害者の「がい」の表記について、漢字、ひらがなのどちらが適切なものか、次回の審議会までにお知らせいただきたい。	「障害」という表記については、前後の文脈から人や人の状態を表す場合には、「障がい」表記を用い、法令等の表現については、「障害」と漢字で表記することとしている。	-

【基本構想（素案）】第4回審議会（2018/11/1開催）資料

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案)修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後	
11	第3回審議会	3委員	Ⅱ 基本構想	30	30	1 まちづくりの理念と将来像	4. 将来の地域構造	(1) 農業・農村ゾーン	農業・農村ゾーン	農地がある地域は宅地化がなされていないので、地域差の解消がまちとしての課題だと思う。	意見の趣旨をふまえ、右記の通り修正する。	田園ゾーン	
12	第4回ご意見シート	委員	Ⅱ 基本構想	30	30	1 まちづくりの理念と将来像	4. 将来の地域構造	(6) 中山道の街並みづくり	-	花街道づくりは地域住民との協働で取り組むため、労力はボランティアで行なっていただくことになるかもしれないが、材料や維持には費用がかかる。町としては継続して予算化できるのか。	町としてきっかけづくりを支援したいと考えるが、住民の自助努力に期待したい。	-	
13	第4回ご意見シート	委員	Ⅱ 基本構想	30 ～ 31	30 ～ 31	1 まちづくりの理念と将来像	4. 将来の地域構造	-	-	(1)「若者定住へ向けて」 (2)「中山道と国道8号との間については、利便性の高い立地条件を活かし」 (3)「国道8号沿線の工業・沿道サービスが立地する区域については」 委員の意見にもあったが、先々のことは予測できない内容もあり、また、地域構造を固定化してしまうことで、少なからず「先入観や価値観など、様々な気分感情」に影響を及ぼすことが考えられる。 よって、第4次総合計画の(1)から(6)の方針を継承するとしても、あえて地域構造図は示すことはせず、地域環境(地域構造)の変化を見込み、柔軟性ある表現がよいのではと思う。 (1)ほ場整備～地域の実情に応じた集落環境の充実を図ります。 (2)利便性の高い立地条件を活かすことのできることは、排水対策の確保～供給します。 (3)国道8号沿線の工業・沿道、また新たな立地区域については～利便性を図ります。 (4)(5)(6)はそのまま記載、(5)は新たな主要道路を含む。	「農業・農村ゾーン」を「田園ゾーン」とするなど、柔軟性のある表現とする。 (1)～(3)の文言については右の通りとする。 (5)については、図を修正する。	(1)「若者定住へ向けて」を削除する。 (2)「中山道と国道8号との間」にあって、利便性の高い立地条件を活かせるところについては」に修正する。 (3)「国道8号沿線の工業・沿道サービスが立地する区域及び新たな立地区域については」	
14	第4回審議会	委員	Ⅱ 基本構想	30 ～ 31	30 ～ 31	1 まちづくりの理念と将来像	4. 将来の地域構造	-	-	農業・農村ゾーン	地域を区画するよりどう発展させるかを考えていただいた方がよいと思う。	意見の趣旨をふまえ、右記の通り修正する。	田園ゾーン
15	第4回審議会	委員	Ⅱ 基本構想	30 ～ 31	30 ～ 31	1 まちづくりの理念と将来像	4. 将来の地域構造	-	-	◇主要道路である県道の改良整備を促進するとともに、湖東三山スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備に伴う改良整備の促進を図ります。	年末には8号線バイパスの方向性が決まるだろうし、将来的に地域構想に組み込んでほしいと思う。	バイパス整備構想の検討中であり、基本計画IP41～42に記載する。	◇主要道路である県道の改良整備を促進するとともに、国道8号バイパスを見据え、国道307号と国道8号を繋ぐ道路整備に努めます。
16	第4回審議会	委員	Ⅱ 基本構想	32	32	2 まちづくりの基本目標	1 基本目標 子育て環境の強みアップ	○地域における学習環境の充実	-	教育委員会で分館長制度の推進が図られているが、マンネリ化してスムーズに行われていない状況がある。教育委員会は制度を固持するより、地域での社会教育の方針を全体的に検討し直す方がよいのではないかと。	生涯学習やコミュニティのうえで有意義な制度であり、趣旨を今後も啓発していく。	-	
17	第3回ご意見シート	委員	Ⅱ 基本構想	33	33	2 まちづくりの基本目標	2 基本目標 全世代参加の地域共生力アップ	◎多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	-	「地域共生社会の実現」 空家店舗の活用	意見反映済みと考える。	-	
18	第4回ご意見シート	委員	Ⅱ 基本構想	33	33	2 まちづくりの基本目標	2 全世代参加の地域共生力アップ	◎地域包括ケアシステムの深化・推進	-	全世代型地域包括支援センターの体制整備を図る、という構想であればなおのこと『相談(対応)体制の拡充』を取り入れるべきと考える。 本計画資料のうち、特に第4次計画の検証結果(資料Ⅱ-2)基本目標3「いきいき安心の暮らしをつくる」のカテゴリーでは、保健、医療、福祉等の分野において「相談(窓口)体制の拡充(充実)が望まれる」、「専門職の確保」、「人材の充実が課題」という言葉が随所に明記されている。 相談対応が不十分な対応では「深化」は図れない、と考えるし、人間が生活していく上で困った時に(相談したい時に)対応でき、適切に対応できる町であることも「町の魅力のひとつ」に繋がる、とも思う。	基本計画P22「(1)全世代型地域包括支援センターの体制整備」のなかで、相談支援の充実について記載している。	-	
19	第3回ご意見シート	委員	Ⅱ 基本構想	33	33	2 まちづくりの基本目標	2 全世代参加の地域共生力アップ	○健康づくりとスポーツの推進	-	「健康づくりと介護予防について」 50歳代からの健康づくりが医療や介護につながるので、運動意識を高める取り組みが必要ではないか。運動プログラムの導入を図り、地道にやり続ける事が大切だと考える。	計画実施段階での参考意見とさせていただきます。	-	
20	第4回審議会	委員	Ⅱ 基本構想	34	34	2 まちづくりの基本目標	3 基本目標 暮らしの安全・安心力アップ	◎道路交通・公共交通網の整備	-	中山道で事故が多発しているため、事故防止の対策の検討も進めてほしい。	意見反映済みと考える。 (意見番号9参照)	-	
21	第4回審議会	委員	Ⅱ 基本構想	34	34	2 まちづくりの基本目標	3 基本目標 暮らしの安全・安心力アップ	○防災・減災対策の充実	-	子ども達の通学路の安全を確保するため、地震によるブロック壁倒壊の問題にはふれるべきだと思う。	意見の趣旨をふまえ、右記の通り追加する。	基本計画IP43 ◇「地震によるブロック壁倒壊の防止」を追加する。	
22	第3回ご意見シート	委員	Ⅱ 基本構想	35	35	2 まちづくりの基本目標	4 基本目標 まちの魅力と活力アップ	○地域産業の振興と雇用対策の充実	-	商店街に入る新しい企業の育成を行っていく。	意見反映済みと考える。	-	
23	第3回審議会	委員	Ⅱ 基本構想	36	36	2 まちづくりの基本目標	5 基本目標 住民直結の行政力アップ	◎持続可能な行政経営の推進	-	PPP(公民連携)やPFI(PFPの代表的な手法の一つ)についても、進めていくことが必要であると思う。	意見反映済みと考える。	-	
24	第3回ご意見シート	委員	Ⅱ 基本構想	36	36	2 まちづくりの基本目標	5 基本目標 住民直結の行政力アップ	◎持続可能な行政経営の推進	-	「広域連携の推進」 住民直結の行政力アップに繋げる内容として、ゴミ処理などの課題を解消(推進)する必要もあり、衛生面、斎場などに連携したキーワードを掲げることも重要と考える。	意見の趣旨をふまえ、右記の通り追加する。	基本計画IP72 ◇「広域で取り組んだほうが効果的・効率的なものについては、広域連携を推進します。」を追加する。	
25	第3回審議会	委員	Ⅱ 基本構想	32 ～ 36	32 ～ 36	2 まちづくりの基本目標	-	-	-	課題や目標は、行政が過去から取り組んでいる流れではないか。これから行政として何を実施していくのが見えないところがある。	基本構想の中で、重点項目を示すことによって反映済みと考える。	-	

【基本計画（素案）】第5回審議会（2018/11/28開催）資料

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案) 修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後
26	第3回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	4	42	1 子育て環境の強みアップ	1. 子育ての環境づくり	(1) 子ども・子育て支援体制の充実	-	外見では分からない障害を持った子どもが多い。	意見反映済みと考える。	-
27	第3回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	8	44	1 子育て環境の強みアップ	2. 子どもの教育環境の充実	-	-	青少年育成にも役立つので、子どもの海外短期留学の実施を検討してほしい。	実現に向けて調整する。	-
28	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	11他	50	1 子育て環境の強みアップ	3. 地域における学習環境の充実	(2) 生涯学習機会の充実と学習活動の促進	◇特に地域共生力の向上へ向けた生涯学習を推進するため、生涯学習の義務教育（65歳以上の義務教育等）に取り組みます。	生涯学習の義務教育化について、生涯学習を義務化するのとはそぐわないと思うので、生涯における学習機会を体系的につくることとして、表現を「生涯学習の仕組みづくり」とした方が良いのではないかと。	指摘をふまえ修正する。	◇住民が参加したくなるような、生涯学習の体系化と仕組みづくりに取り組みます。
29	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	15	54	1 子育て環境の強みアップ	4. まちの文化の保全と育成	(2) 文化遺産の保護・保存と活用の推進	-	豊郷町に学芸員がないことは問題だと思う。文化財保護法の改正があり来春より施行されるが、そこでは「地域における文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財保護行政の推進力の強化を図る」とされている。豊郷町にも歴史的な資源が多くありながら十分活かされていないのももったいないと思う。(2)文化遺産の保護・保存と活用の推進については、もう一歩踏み込んで書いていただきたい。	文化財保護法改正の趣旨をふまえ、今後検討する。	-
30	第3回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	18	57	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(1) 多世代コミュニティの創造	-	若い世代が地域活動に参加しやすいまちづくりが大事だと思う。	意見反映済みと考える。	-
31	第3回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	18	57	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(1) 多世代コミュニティの創造 他	-	他府県からの移住者や転入者を呼び込む対策を、行政として真剣に考えていければよいと思う。	総合戦略と整合を図りながら、総合計画素案でも意見反映済みと考える。	-
32	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	18	57	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(1) 多世代コミュニティの創造	-	現状、自治会の休止状態や新住民の増加、地区の再編による加入・未加入の問題などがあり、自治会のあり方そのものを見直す必要があると思う。それをどのように進めていけばよいのかが大きな課題なのではないか。	基本計画旧P18に記載の通り検討する。 (「◇新たなコミュニティの創設や柔軟な運営によって行政とコミュニティと自治会の新しい関係づくりを検討します。」)	-
33	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	18	57	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(1) 多世代コミュニティの創造	-	自治会や老人クラブなど既存組織が立ち行かなくなっている現状に対して、答えは「再編」だと思う。コミュニティ施策のところに、「当事者が集まり再編について検討する」という表現を入れていただきたい。	同上	-
34	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	18	57	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(2) 「お互いさま」のまちづくり	-	「豊郷町ボランティア協議会の強化と活動の充実」とあるが、少しの時間でもできる登録制の個人ボランティアを増やしていく事が人材確保につながるのではないかと。	年齢に限らず知識や能力を活かす個人ボランティアを「プラチナ人材バンク」として、登録・活用する仕組みを検討する。	基本計画旧P20の主要事業に「プラチナ人材バンクの設立」を記載する。
35	第5回審議会	会長	Ⅲ 基本計画	18	57	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(2) 「お互いさま」のまちづくり	豊郷町ボランティア協議会の強化と活動の充実に取り組みます。	「強化」という言葉が使われているが、住民がボランティア活動をしやすいように表現の検討をお願いしたい。	意見の趣旨をふまえ修正する。	豊郷町ボランティア協議会の活動の輪が広がるよう支援に取り組みます。
36	第5回審議会	2委員	Ⅲ 基本計画	18	57	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(2) 「お互いさま」のまちづくり	-	「ボランティア」については、各地域の「分館（公民館）」を活用して、各地域のボランティアを育て地域のボランティアが地域の人を助ける形を作り、それを町全体に広げて行ったらよいのではないかと。	年齢に限らず知識や能力を活かす個人ボランティアを「プラチナ人材バンク」として、登録・活用する仕組みを検討する。	基本計画旧P20の主要事業に「プラチナ人材バンクの設立」を記載する。
37	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	19	58	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(3) 生活支援サービスの育成	※ プラチナ人材とは：従来のシルバー人材という呼称から、より輝きのある人材、知識・経験をもった人材としてプラチナ人材と呼びます。	「プラチナ人材」とあるが、シルバーとの違いが分かりにくい。	説明を補足する。	※ プラチナ人材とは：従来のシルバー人材という呼称から、より輝きのある人材、知識・経験を活かしてボランティア活動に参加するもった人材をとしてプラチナ人材と呼びます。
38	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	19	58	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(3) 生活支援サービスの育成	-	「シルバー人材センター」＝「プラチナ人材センター」とするのではなく、「プラチナ」とするならば高齢の方に限らず、自分の持っている能力をボランティアで発揮できるような登録型にして、40代でも50代でも参加していただくようにしてはどうか。	年齢に限らず知識や能力を活かす個人ボランティアを「プラチナ人材バンク」として、登録・活用する仕組みを検討する。	基本計画旧P20の主要事業に「プラチナ人材バンクの設立」を記載する。
39	第5回ご意見シート	委員	Ⅲ 基本計画	19	58	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(3) 生活支援サービスの育成	-	「プラチナ」と名付けるのであれば、尊敬されるような人が良いと思う。 例) 書道や料理等、指導者として活躍してもらえる人材に名付ける。	年齢に限らず知識や能力を活かす個人ボランティアを「プラチナ人材バンク」として、登録・活用する仕組みを検討する。	基本計画旧P20の主要事業に「プラチナ人材バンクの設立」を記載する。
40	第3回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	19	58	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(4) 空き家・空き店舗の活用	-	空家対策へのボランティア活動に関連して、認知症予防教室や障害者へのサービス提供について考えていければ良いと思う。	意見反映済みと考える。	-

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案) 修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後
41	第5回ご意見シート	委員	Ⅲ 基本計画	19	58	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(4) 空き家・空き店舗の活用		「空き家・空き地情報バンク」はマッチングの策を考える必要がある。 →どのように使用してほしいか、使用したいかをしっかりとリサーチする。(個人的に興味があり、アイデアを出したいと思う。)	計画実施段階での参考意見とさせていただきます。	-
42	第3回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	20	59	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	(7) 人にやさしい環境整備	-	誰でも、車いすでもどこにでも行くことができるような、障害者にやさしいまちにしてほしい。	意見反映済みと考える。	-
43	第5回ご意見シート	委員	Ⅲ 基本計画	24	65	2 全世代参加の地域共生力アップ	3. 健康づくりとスポーツの推進	◆現状と課題◆	「アザック」	【これまでに取り組んできたことは】 3つ目の◇「アザック」を「アザックとよさと」に訂正をお願いする。	意見の通り修正する。	「アザックとよさと」
44	第5回ご意見シート	委員	Ⅲ 基本計画	24	65	2 全世代参加の地域共生力アップ	3. 健康づくりとスポーツの推進	「●スポーツ公園の利用状況」の表について		平成25年度の体育館の利用減少については、「改修工事のため」と明記してはどうか。	指摘の通り説明を追加する。	※平成25年度の利用減少は、改修工事による。
45	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	28	70	2 全世代参加の地域共生力アップ	4. 高齢者福祉の充実	(3) 高齢者の社会参加の促進		◇高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と多様な社会参加への意識づけを高めていくために、シルバー人材センターの新たな展開、老人クラブの活性化、地域活動への支援等に取り組みます。 「老人クラブの活性化」とあるが、存続も難しい現在の「活性化」という表現が何を指すのかわかりにくく、大変重く感じられる。	意見の趣旨をふまえ、右記の通り修正する。	◇高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と多様な社会参加への意識づけを高めていくために、シルバー人材センターの新たな展開、老人クラブの活性化、いきがい協働センター等地域活動への支援に取り組みます。
46	第5回ご意見シート	委員	Ⅲ 基本計画	28	70	2 全世代参加の地域共生力アップ	4. 高齢者福祉の充実	-	-	健康寿命等で、社会教育課(保健体育課)と医療保険課や保健福祉課等と一緒に取り組める事業等があるように思う。それらを精査することで、予算とかも削減できるのではないかと。	計画実施段階での参考意見とさせていただきます。	-
47	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	34	76	2 全世代参加の地域共生力アップ	6. 医療・介護の基盤整備	◆現状と課題◆	「医療機関数はやや減少しているものの」	「医療機関数はやや減少しているものの」とあるが、「やや」ではなく減少していると思うので文章を考えていただきたい。	「やや」を削除する。	「医療機関数はやや減少しているものの」
48	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	39	81	2 全世代参加の地域共生力アップ	7. 共生のまちづくり	(4) 多文化共生のまちづくり		豊郷町においても国際交流協会などの設立を図っていく必要があるのではないかと。	必要性を見極めながら、今後検討していきたい。	-
49	第5回ご意見シート	委員	Ⅲ 基本計画	17 ~ 40	56 ~ 82	2 全世代参加の地域共生力アップ	-	-	-	第2章は「第1章 子育て環境の強みアップ 3. 地域における学習環境の充実(2) 生涯学習」と連携した方がよいのではないかと。	参考意見とさせていただきます。	-
50	第3回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	48	91	3 暮らしの安全・安心力アップ	3. 環境保全の推進	(1) 環境保全・環境美化の推進	-	「環境基本計画は必要ない」という見解が出ているが、ぜひ、作成してほしいと思う。	意見反映済みと考える。	-
51	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	55	97	3 暮らしの安全・安心力アップ	5. 防災・減災対策の充実	(2) 自主防災組織の育成		◇防災訓練や防災に関する講座の開催等、自主防災意識の高揚に努めることともに、消防団の団員の確保、訓練の充実にも努め組織強化を図ります。また、女性や高齢者等屋間在の住民層の参画促進を図ります。 「女性や高齢者等屋間在の」とあるが、限定する必要はないように思う。	意見の通り削除。	◇防災訓練や防災に関する講座の開催等、自主防災意識の高揚に努めるとともに、消防団の団員の確保、訓練の充実にも努め組織強化を図ります。また、女性や高齢者等屋間在の住民層の参画促進を図ります。
52	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	55	97	3 暮らしの安全・安心力アップ	5. 防災・減災対策の充実	(2) 自主防災組織の育成	-	「住民全員参加の防災訓練の実施」とあるが、地区によっては全員参加ですで行っているところもあるので、しているところとしていないところの差をなくしていくという方向にされたら良いのではないかと。	意見の趣旨をふまえ現状と課題に記載を追加し、主要施策の文言を一部修正する。	【これまでに取り組んできたことは】の5つ目に追加 ◇各自治会において、地震や風水害を想定した防災訓練を実施しています。 ◇防災士資格取得のための受講費を補助しています。
53	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	55	97	3 暮らしの安全・安心力アップ	5. 防災・減災対策の充実	(3) 防火・防災基盤の整備充実	◇拠点避難場所5カ所に…	「拠点避難場所5カ所」とあるが、どこにあるかわかった方がよいのではないかと。	意見の趣旨をふまえ場所を明記する。	◇拠点避難場所5カ所(豊郷小学校、日栄小学校、豊日中学校、豊郷スポーツ公園、豊栄のさと)に…
54	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	58	100	3 暮らしの安全・安心力アップ	6. 地域安全対策の充実	(1) 交通安全施設の整備	-	子どもや高齢者も「安全に移動できる道路環境の確保」とあるが、子どもたちの通学を見てましても歩道がないところを歩かざるを得なかったり、雪の日など境目がわからず田んぼにはまったりしているため、大きなことだけではなく現状をしっかりと把握し対策していくことが重要だと思う。	テリネーター等の設置を検討する。	-
55	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	60	102	4 まちの魅力と活力アップ	1. 農業の振興	◆現状と課題◆		法人化を立ち上げもう20年になり、営農組合役員の高齢化が進んでいる。甲良町では連合式にしてお互い助け合っているようで、豊郷町でも法人化で安心せず次のステップを考える必要があると思う。	意見の趣旨をふまえ、右記の通り追加する。	基本計画IBP61(1)の3つ目 ◇将来的に持続可能な農業生産体制について研究します。
56	第3回ご意見シート	委員	Ⅲ 基本計画	64	106	4 まちの魅力と活力アップ	2. 観光の振興	(2) 中山道の街並みづくり	-	「街道の美化」 中山道を歩く人達のために、花街道づくりに協力してくれるボランティアの育成や、各家庭に依頼してみるのはいかがでしょうか。	意見反映済みと考える。	-
57	第3回審議会	3委員	Ⅲ 基本計画	64	106	4 まちの魅力と活力アップ	2. 観光の振興	(3) 郷土の歴史文化の発信	-	町の代表的な江州音頭についての発信をしてほしい。	意見反映済みと考える。	-

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案) 修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後
58	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	64	106	4 町の魅力と活力アップ	2. 観光の振興	(3) 郷土の歴史文化の発信	-	保存会としては、観音盆の発祥地として「扇踊り」や「傘踊り」の普及を頑張っていきたいと思っている。	取り組みを期待しつつ、支援を続けていきます。	
59	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	64	106	4 町の魅力と活力アップ	2. 観光の振興	(3) 郷土の歴史文化の発信	-	豊郷町は江州音頭発祥の地なので、中山道を走ると江州音頭が流れるようにしたり、飛び出し坊やに江州音頭の傘や扇を持たすなどを考えていくのも楽しいのではないかなと思う。	意見の趣旨をふまえ右記のとおり修正する。	基本計画旧P43【主要事業】に「速度を抑制する安全な道路環境整備（江州音頭メロディロード等）」を記載する。
60	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	64	106	4 町の魅力と活力アップ	2. 観光の振興	(3) 郷土の歴史文化の発信	-	江州音頭に関する歴史的資料が干樹寺にはあるが、展示する場所がない現状だ。江州音頭発祥の地としての施設を作っていただきたい。	将来的な検討課題とさせていただきます。	
61	第5回ご意見シート	委員	Ⅲ 基本計画	64	106	4 町の魅力と活力アップ	2. 観光の振興	(3) 郷土の歴史文化の発信	-	江州音頭バージョンの飛び出し坊やは良い案だと思う。これを、地元の子も達にも作ってもらうことで、若者世代に継承していくことになるのではないかな。	計画実施段階での参考意見とさせていただきます。	-
62	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	64	106	4 町の魅力と活力アップ	2. 観光の振興	-	-	町としてできること、町と観光協会のできること、財源の確保や実現可能なことを地に足をつけて考え、「ご当地アイドルの結成」といったお金も時間もかかるのではなく、参加型のSNSでの発信やちょっとしたイベントを重ねるなどの具体的な取り組みに力を入れたほうが良いのではないかな。	「ご当地アイドルの結成」は削除し、計画実施段階での参考意見とさせていただきます。	-
63	第5回審議会	委員	Ⅲ 基本計画	66 ~ 67	110 ~ 111	4 町の魅力と活力アップ	3. 地域産業の振興と雇用対策の充実	-	-	国が提示した小規模企業振興基本条例の制定について商工会代表として今年の2月に町長に要望を出したが、その取り組みをここに盛り込むほうがよいのかどうか、検討いただければと思う。	条例制定の予定である。	-
64	第3回ご意見シート	委員	その他	-	-	-	-	-	-	・住民一人ひとりのニーズに答えるのは非常に難しいものがあると思う。各年代の困っているところに答えられる計画を作っていけたらと思う。また、住民が主体となって、取り組み全てにおいて住民参加型になることで、地域の愛着心や自治意識が高まると良いと思う。 ・子育てや、福祉関係において、行政(各課)や団体など、目指す所は同じであるので、上手に協力関係を結び、縦の繋がりでなく、横の繋がりをもち事業を進めていく仕組みづくりができると良いと思う。	基本目標2の「全世代型地域包括ケアシステムの進化・推進」、基本目標5の「情報共有と住民参加の推進」で触れているが、計画の実施段階全般において参考にさせていただきます。	-
65	第5回ご意見シート	委員	その他	3	3	-	-	-	(3) 進行管理 計画はその着実な実行と点検・評価・改善の継続が重要であり、PDCAマネジメントサイクルによる進行管理の仕組みを視野にいれながら、計画策定を行います。	10年間の計画だがその進捗状況について、「3年ごと、5年ごとに確認し評価します。」と言うような事柄は、どこかに織り込まれるのか。また、その時は、今の委員が確認していくことになるのか。	基本構想旧P3において記載を修正し、外部委員による評価を行う予定である。	(3) 進行管理 計画はその着実な実行と点検・評価・改善の継続が重要であり、PDCAマネジメントサイクルによる進行管理の仕組みを視野にいれながら、計画策定を行います。

各課ヒアリング等庁内会議に伴う修正、その他語句の修正等

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案) 修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後	
66	第4回審議会	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	全般的に 「障害」（法令等以外）→「障がい」	左記の通り。	-	
67	第4回審議会	事務局	I はじめに	25	25	2 まちの現状と課題	4. まちづくりの課題	(1) 子育て環境のよさを生かす	(1) 子育て・教育環境のよさを生かす 今後、このような子育て・教育環境のよさを生かし、	タイトルと以下4行目 「生かす」→「活かす」	左記の通りに全般にわたって修正する。	(1) 子育て・教育環境のよさを活かす 今後も、このような子育て・教育環境のよさを活かす、	
68	第4回審議会	事務局	Ⅱ 基本構想	33	33	2 まちづくりの基本目標	2 基本目標 全世代参加の地域共生力アップ	◎多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	空き家・空き店舗活用も視野に入れながら、子ども・若者とシニア世代が出会い、	1行目 「出合い」→「出会い」	左記の通りに修正する。	空き家・空き店舗活用も視野に入れながら、子ども・若者とシニア世代が出会い、	
69	第5回審議会	委員	全般	-	-	-	-	-	-	再掲の場合は「再掲」と記載する。	(再掲)と記載する。	-	
70	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	表記の統一	2018年までは「2018年（平成30年）」 2019年以降は西暦表記	-	
71	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	出典 → より 時期 → から	表記の統一	時間的な意味の「より」⇒「から」	-
72	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	表記の統一	「豊郷町」⇒「本町」	-	
73	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	表記の統一	「いっそう」⇒「一層」	-	
74	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	表記の統一	「ていねい」⇒「丁寧」	-	

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案)修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後
75	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	表記の統一	「及び」⇒「および」	-
76	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	表記の統一	「出しあい」⇒「出し合い」	-
77	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	表記の統一	「か所」⇒「箇所」	-
78	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	表記の統一	「つうじて」⇒「通じて」	-
79	-	事務局	全般	-	-	-	-	-	-	表記の統一	「はばひろい」⇒「幅広い」	-
80	-	事務局	I はじめに	6	6	2 まちの現状と課題	1 本町の地域概況	(3) まちの産業下段のグラフ中	商業(平成28年間販売額)	出典データの精査。		商業(平成27年間販売額)
81	-	各課ヒアリング等庁内会議	I はじめに	7	7	2 まちの現状と課題	1 本町の地域概況	(4) 第4次計画策定後のまちの歩み	-	2項目を追加	左記の通り。	
82	-	事務局	I はじめに	25	25	2 まちの現状と課題	4 まちづくりの課題	(1) 子育て環境のよさを活かす	小中学生・高校生の医療費無償化	語句修正		小中学生・高校生世代までの医療費無料化
83	-	事務局	I はじめに	25	25	2 まちの現状と課題	4 まちづくりの課題	(2) 地域共生社会の実現	「あったかホーム」などの取組	語句修正		「あったかホーム」などの宅老所整備の取組
84	-	事務局	I はじめに	25	25	2 まちの現状と課題	4 まちづくりの課題	(2) 地域共生社会の実現	地域包括ケアシステムの深化・推進	語句修正		地域包括ケアシステムの推進(以降のページにおいても同様に修正)
85	-	事務局	II 基本構想	29	29	1 まちづくりの理念と将来像	2 まちの将来像	-	将来像の末尾の「(仮)」	第4回審議会です了承を得たため。		「(仮)」を削除
86	-	事務局	II 基本構想	29	29	1 まちづくりの理念と将来像	3 人口の見通し	-	目標年次における人口を7,300人に維持する…	語句修正		目標年次において人口7,300人を維持する…
87	-	事務局	II 基本構想	30	30	1 まちづくりの理念と将来像	4 将来の地域構造	(5) 主要道路	湖東三山インターチェンジ	語句修正		湖東三山スマートインターチェンジ
88	-	事務局	II 基本構想	31	31	1 まちづくりの理念と将来像	4 将来の地域構造	将来の地域構造図		審議会意見や周辺動向をふまえた修正		主要道路の「構想路線」を追加。「田園ゾーン」、「住宅ゾーン」の範囲を修正。
89	-	事務局	II 基本構想	33	33	2 まちづくりの基本目標	2 全世代参加の地域共生力アップ	◎ 地域包括ケアシステムの深化・推進	◎地域包括ケアシステムの深化・推進 高齢者…発達に支援が必要な子どもなど、…すべての人を対象とした全世代型地域包括支援センターの体制整備を図り、…	他の修正箇所との整合		◎全世代型地域包括ケアシステムの推進 高齢者…ひとり親家庭など、…すべての人を対象とした全世代型地域包括支援の体制整備を図り、…
90	-	事務局	II 基本構想	33	33	2 まちづくりの基本目標	2 全世代参加の地域共生力アップ	○ 健康づくりとスポーツの推進	…地域ぐるみの健康づくりや生活習慣病の発生予防	語句修正		…地域ぐるみの健康づくりや生活習慣病の発症予防(基本計画P65も同様)
91	-	事務局	II 基本構想	-	37	-	-	-	-	-	-	「基本構想の体系」図を追加。
92	-	各課ヒアリング等庁内会議	II 基本構想	31	31	1 まちづくりの理念と将来像	4. 将来の地域構造	地域構造図	<b>みどり色</b> 農業・農村ゾーン	他の修正箇所との整合		<b>みどり色</b> 田園ゾーン
93	-	事務局	II 基本構想	35	35	2 まちづくりの基本目標	基本目標4		地域強制力を	語句修正		地域共生力を
94	-	事務局	III 基本計画	-	-	-	-	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】の全般	課題を示す部分	記載の整理		課題を示す部分については、【今後の課題は】に移動する。
95	-	事務局	III 基本計画	-	-	-	-	現状と課題の全般	◇の文頭の「また」「一方」等の接続詞	語句修正		◇の文頭の「また」「一方」等の接続詞を削除する。
96	-	事務局	III 基本計画	5以降	-	「ともに取り組む主要事業」全般	表下の注釈	-	協力者、参加者 → 協力、参加、支援	「行政による支援」を示すための修正		協力者、参加者 → 協力、参加、支援

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案) 修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後
97	-	事務局	Ⅲ 基本計画	2	40	1 子育て環境の強みアップ	1. 子育ての環境づくり	現状と課題 【これまでに取り組んできたことは】	◇子育て支援センターでは、子育て相談、「ひろば」、発達について支援が必要な子どもへの支援等の充実を図りました。	記載の明確化		◇子育て支援センターでは、子育て相談、年齢ごとに活動する「ひろば」、継続して支援が必要な子どもへは関係機関との連携を図ってきました。
98	-	事務局	Ⅲ 基本計画	4	42	1 子育て環境の強みアップ	1. 子育ての環境づくり	◆主要施策◆ 子ども・子育て支援体制の充実	2つ目◇発達障がい等の早期発見・早期対応および継続的支援ができる発達支援の仕組みづくりを進めます。	記載の明確化(限定を避ける)		◇発達障がい等の早期発見・早期対応および継続的支援ができる仕組みづくりを進めます。
99	-	事務局	Ⅲ 基本計画	4	42	1 子育て環境の強みアップ	1. 子育ての環境づくり	◆主要施策◆ ひとり親家庭への支援の充実	◇ひとり親家庭への経済的支援や親の就労支援等の充実を図ります。	記載の明確化(語句の補足)		◇関係機関と連携しひとり親家庭への経済的支援や親の就労支援等の充実を図ります。
100	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	4	42	1 子育て環境の強みアップ	1. 子育ての環境づくり	◆主要施策◆ 子どもが安心して遊べる場づくり	子どもが安心して遊べる場づくりとして、豊栄のさとの再整備を行い、公民連携による運営を取り入れながら活用を図ります。	記載の明確化		子どもが安心して遊べる場づくりとして、豊栄のさとの公園としての機能強化を図ります。その際には、公園部分の管理運営については、公民連携の活用も検討します。
101	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	6	44	1 子育て環境の強みアップ	2. 子どもの教育環境の充実	現状と課題 【これまでに取り組んできたことは】	小学校を通じて、健全な発達を支える給食を生かした	記載の明確化		◇3つ目 小学校を通じて、健全な発達を支える給食を生かした(関連する箇所についても同様に追加。P32等)
102	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	6	44	1 子育て環境の強みアップ	2. 子どもの教育環境の充実	現状と課題 【これまでに取り組んできたことは】	特別支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、乳幼児期から義務教育を終えるまで一貫して支援を行うため、個別支援計画を作成し引き続き行うとともに、特別支援教育支援員等の	記載の明確化		支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、乳幼児期から義務教育を終えるまで継続した切れ目のない支援を行うため、特別支援教育支援員等の
103	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	13	49	1 子育て環境の強みアップ	4. まちの文化の保全と育成	現状と課題 【これまでに取り組んできたことは】	●図書館の状況	適切な該当箇所への移動		図書館の移動→P11に移動
104	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	13	52	1 子育て環境の強みアップ	4. まちの文化の保全と育成	現状と課題 【これまでに取り組んできたことは】	豊栄のさと文化ホールがあり、	語句修正		豊栄のさとがあり、
105	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	13	52	1 子育て環境の強みアップ	4. まちの文化の保全と育成	現状と課題 【これまでに取り組んできたことは】	平成29年度現在16件の指定文化財があり、	記載の明確化		2017年度(平成29年度)現在県2件、町6件の指定文化財と8件の国登録有形文化財があり、
106	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	17	57	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	現状と課題 【これまでに取り組んできたことは】	一方、これまで「あったかホーム」等の取組	記載の明確化		一方、これまで「あったかホーム」等の宅老所整備の取組
107	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	18	57	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	◆主要施策◆ (1) 多世代コミュニティの創造	新たに転入してきた住民の増加によって自治会の運営が困難になっている自治会があるため、新たなコミュニティの	記載の明確化(必要以上の限定を避ける)		新たなコミュニティの
108	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	19	58	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	◆主要施策◆ (3) 生活支援サービスの育成	地域包括支援センターとの連携のもと、生活支援サービスの担い手の育成や発掘、地域資源の開発やネットワーク化に取り組む生活支援コーディネーターを配置し、…	記載の明確化		生活支援サービスの担い手の育成や発掘、地域資源の開発やネットワーク化に取り組む生活支援コーディネーターを活用し、…
109	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	19	58	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	◆主要施策◆ (3) 生活支援サービスの育成	シルバー人材センター事業の業務については、生活支援や子育て支援等対人サービスにおいて専門的な知識・技能を發揮できるような人材を「プラチナ人材」として位置付け、人材の発掘に取り組みすることで『プラチナ人材センター』として新たな事業展開ができるよう支援します。	意見番号36~39との整合		専門的な知識・技能を發揮できるような人材を「プラチナ人材」として位置付け、人材の発掘に取り組みすることで『プラチナ人材バンク』の設立を支援します。
110	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	19	58	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	◆主要施策◆ (5) 地域の見守り体制の充実	災害時の要支援者対策として、要援護者台帳の登録・更新を進め、	語句修正		災害時の要支援者対策として、要援護者名簿の登録・更新を進め、
111	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	19	58	2 全世代参加の地域共生力アップ	1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進	◆主要施策◆ (6) 孤立することのない地域福祉のまちづくり	朝食を食べる機会の少ない子どもへの支援や子どものふれあいの場として、県の助成制度を活用しながら「こども食堂」の開設を支援します。	記載の明確化(県助成制度が廃止されるため)		子どものふれあいの場としての、「こども食堂」の開設・運営を支援します。

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案) 修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後
112	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	21	62	2 全世代参加の地域共生力アップ	2. 地域包括ケアシステムの深化・推進	—	2.地域包括ケアシステムの深化・推進	語句修正		2.全世代型地域包括ケアシステムの推進
113	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	22	62	2 全世代参加の地域共生力アップ	2. 地域包括ケアシステムの深化・推進	現状と課題【今後の課題は】	支援を必要とするすべての人を対象とした全世代型地域包括支援センターの体制整備を図り、	記載の明確化		支援を必要とするすべての人を対象とした全世代型地域包括支援の体制整備を図り、
114	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	22	63	2 全世代参加の地域共生力アップ	2. 地域包括ケアシステムの深化・推進	(1) ◆主要施策◆ 全世代型地域包括支援センターの体制整備	(タイトル) 全世代型地域包括支援センターの体制整備	記載の明確化		全世代型地域包括支援の体制整備
115	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	22	63	2 全世代参加の地域共生力アップ	2. 地域包括ケアシステムの深化・推進	(1) ◆主要施策◆ 全世代型地域包括支援センターの体制整備	1つ目◇ 全世代型地域包括支援センターの体制整備を図ります。	記載の明確化		全世代型地域包括支援の体制整備を図ります。
116	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	22	63	2 全世代参加の地域共生力アップ	2. 地域包括ケアシステムの深化・推進	(1) ◆主要施策◆ 全世代型地域包括支援センターの体制整備	2つ目◇ …高齢者を対象とした地域包括支援センターに加えて、児童の発達支援の仕組みや障がい者、生活困窮者の自立支援等の…	記載の明確化(児童だけでなく継続的な支援となるため)		…高齢者を対象とした地域包括支援センターに加えて、発達支援の仕組みや障がい者、生活困窮者の自立支援等の…
117	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	24	65	2 全世代参加の地域共生力アップ	3. 健康づくりとスポーツの推進	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】	総合型スポーツクラブ「アザック」をはじめ、年齢やライフスタイルに応じた多様なスポーツの機会づくりを進めるとともに、その環境として豊郷スポーツ公園や	語句修正		◇3つ目 総合型地域スポーツクラブ「アザックとよさと」と連携し、年齢やライフスタイルに応じた多様なスポーツの機会づくりを進めるとともに、豊郷スポーツ公園や
118	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	24	65	2 全世代参加の地域共生力アップ	3. 健康づくりとスポーツの推進	現状と課題【今後の課題は】	「自分の健康は自分でつくる」を理念とした地域ぐるみの健康づくりや生活習慣病の発生予防・重症化予防、食育の推進と、	語句修正		「自分の健康は自分でつくる」を理念とした地域ぐるみの健康づくりや生活習慣病の発生予防・重症化予防および食育の推進と、
119	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	25	66	2 全世代参加の地域共生力アップ	3. 健康づくりとスポーツの推進	(2) ◆主要施策◆ 住生活習慣病の発生予防と重症化予防	住生活習慣病の発生予防と重症化予防	語句修正		生活習慣病の発生予防と重症化予防
120	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	25	66	2 全世代参加の地域共生力アップ	3. 健康づくりとスポーツの推進	(2) ◆主要施策◆ 住生活習慣病の発生予防と重症化予防	適度な運動、喫煙や過度な飲酒をしない等、	語句修正		適度な運動の必要性についてや、喫煙しない・過度な飲酒をしない等の啓発を行い、
121	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	26	67	2 全世代参加の地域共生力アップ	3. 健康づくりとスポーツの推進	(5) ◆主要施策◆ 生涯スポーツの推進	生涯にわたってスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブをはじめとして、年齢や	語句修正		生涯にわたってスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブ「アザックとよさと」と連携して、年齢や
122	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	27	70	2 全世代参加の地域共生力アップ	4. 高齢者福祉の充実	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】	例えば、老人クラブ活動・自治会活動等への取組、滋賀県レイカディア大学の受講、また、各自による趣味・娯楽・文化活動、ボランティア活動等への取組を行ってきました。	「滋賀県レイカディア大学の受講」を追加		◇3つ目 具体的には、老人クラブ活動・自治会活動等への取組、また、各自による趣味・娯楽・文化活動、滋賀県レイカディア大学の受講、ボランティア活動等への取組を行ってきました。
123	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	31	74	2 全世代参加の地域共生力アップ	5. 障がい者福祉の充実	(1) ◆主要施策◆ 相談・情報提供体制の整備	2つ目◇ …保護者等の理解が図られるよう努めます。	記載の明確化		…保護者等との相互理解が図られるよう努めます。
124	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	31	74	2 全世代参加の地域共生力アップ	5. 障がい者福祉の充実	(3) ◆主要施策◆ 保健・医療・福祉の充実	…必要な医療やリハビリテーションを受けられるよう…	記載の明確化(語句の補足)		…必要な医療やリハビリテーション、福祉サービスを受けられるよう…



No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案) 修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後
125	-	事務局	Ⅲ 基本計画	35	78	2 全世代参加の地域共生力アップ	6. 医療・介護の基盤整備	(3) ◆主要施策◆ 介護保険の円滑な運営	◇地域包括ケアシステムの進化・推進を図るために、今後も地域包括ケア会議等を通じて医療・福祉に携わる多職種連携を図るとともに、認知症対応型通所介護や共同生活介護等の地域密着型サービスの充実に努め、高齢者が住み慣れた地域で適切にサービスを受けることができるよう基盤整備を進めます。	記載の明確化(語句の補足)		◇高齢者が安心して地域で暮らせるよう、すでに取組をスタートさせている地域包括ケアシステムの深化・推進を図るために、今後も地域ケア会議等を通じて医療・福祉に携わる多職種連携を進めるとともに、障がい者や生活困窮者、発達に支援が必要な子ども等、支援を必要とするすべての人を対象とした全世代型地域包括支援の体制整備を図ります。 ◇認知症対応型通所介護や共同生活介護等の地域密着型サービスの充実に努め、高齢者が住み慣れた地域で適切サービスを受けることができるよう基盤整備を進めます。
126	-	事務局	Ⅲ 基本計画	38	80	2 全世代参加の地域共生力アップ	7. 共生のまちづくり	現状と課題 【今後の課題は】	二つ目◇ …ボランティア通訳や来訪者へのガイド等の体制ができていない現状です…	語句修正		…ボランティア通訳や来訪者へのガイド等の体制が十分ではない現状です…
127	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	41	83	3 暮らしの安全・安心力アップ	1. 道路交通・公共交通網の整備	現状と課題 【まちをとりまく動向は】	2013年より湖東三山スマートインターチェンジが開業し、名神高速道路へ	語句修正		◇1つ目 2013年(平成25年)から湖東三山スマートインターチェンジが開業し、名神高速道路へ
128	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	41	83	3 暮らしの安全・安心力アップ	1. 道路交通・公共交通網の整備	現状と課題 【まちをとりまく動向は】	国道8号米原バイパス整備に向けて、国・滋賀県・関係自治体等による協議が進められており、本町のまちづくりに与える影響を見極めていく必要があります。	記載の明確化		◇2つ目 国道8号米原バイパス整備に向けてようやく国が着手しました。本町を通過する可能性もあるため今後の動向を注視していきます。
129	-	事務局	Ⅲ 基本計画	41	83	3 暮らしの安全・安心力アップ	1. 道路交通・公共交通網の整備	現状と課題 【まちをとりまく動向は】	(三つ目◇を追加)	近江鉄道に関する記載を追加		◇近江鉄道の累積赤字の増大に伴い路線の存廃についての検討が進められています。
130	-	事務局	Ⅲ 基本計画	42	84	3 暮らしの安全・安心力アップ	1. 道路交通・公共交通網の整備	現状と課題	(表を追加)	(表を追加)		「●愛のりタクシー利用状況」表を追加
131	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	42	84	3 暮らしの安全・安心力アップ	1. 道路交通・公共交通網の整備	(1) ◆主要施策◆ 主要道路の整備	主要道路である県道の改良整備を促進するとともに、湖東三山スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備に伴う改良整備の促進を図ります。	記載の明確化		◇1つ目 主要道路である県道の改良整備を促進するとともに、国道8号バイパスを見据え、国道307号と国道8号をつなぐ道路整備に努めます。
132	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	43	85	3 暮らしの安全・安心力アップ	1. 道路交通・公共交通網の整備	(2) ◆主要施策◆ 生活道路の整備推進	本庁内道路交通網の長期的整備の指針として策定された道路整備計画にしたがい、計画的な整備を推進します。	記載の明確化		町内道路交通網の長期的整備の指針となる道路整備計画を策定し、計画的な整備を推進します。
133	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	43	85	3 暮らしの安全・安心力アップ	1. 道路交通・公共交通網の整備	(2) ◆主要施策◆ 生活道路の整備推進		意見番号9との整合		◇2つ目として ◇危険箇所が解消されるよう、住民の利用の多い県道・生活道路について、改良整備の要望を続けます。
134	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	43	85	3 暮らしの安全・安心力アップ	1. 道路交通・公共交通網の整備	(2) ◆主要施策◆ 生活道路の整備推進	3つ目◇ 集落内・集落間町道等の生活道路について、良好な維持管理に努めるとともに…			町道等良好な維持管理に努めるとともに…
135	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	43	85	3 暮らしの安全・安心力アップ	1. 道路交通・公共交通網の整備	(2) ◆主要施策◆ 生活道路の整備推進	通学路や高齢者の利用の多い道路をはじめ、歩道の設置、交差点の改良、防護柵の設置等、すべての住民のための安全対策を計画的に進めます。	意見番号21との整合		通学路や高齢者の利用の多い道路をはじめ、歩道の設置、交差点の改良、防護柵の設置、地震によるブロック壁倒壊の防止等、すべての住民のための安全対策を計画的に進めます。
136	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	44	87	3 暮らしの安全・安心力アップ	2. 生活環境の整備	現状と課題 【これまでに取り組んできたことは】	が廃止となり	語句修正		の統合により

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案)修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後
137	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	44	87	3 暮らしの安全・安心力アップ	2. 生活環境の整備	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】	努めました。	取組に関する記載を追加		努めました。また、2018年度(平成30年度)には耐震化計画策定も行いました。
138	-	事務局	Ⅲ 基本計画	44	87	3 暮らしの安全・安心力アップ	2. 生活環境の整備	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】	3つ目 ◇下水道は全町水洗化を目指し広報による啓発に努め、年々水洗化率が向上しています。	し尿処理に関する記載を追加		3つ目 ◇下水道は全町水洗化を目指し広報による啓発に努め、年々水洗化率が向上しています。これに伴ってし尿処理の対象世帯はごく少ない現状となっています。
139	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	44	87	3 暮らしの安全・安心力アップ	2. 生活環境の整備	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】	-	地籍調査に関する記載を追加(下段に注釈も追加)		◇4つ目 ◇2014年度(平成26年度)から雨降野区で地籍調査を開始し、現在他の地域の調査を行っています。 ※地籍調査は国土調査法に基づく調査の一つで、一筆ごとの土地について所有者、地番、地籍の調査や境界および地積に関する測量を行い、その結果を地籍図と地籍簿に作成する事業
140	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	44	87	3 暮らしの安全・安心力アップ	2. 生活環境の整備	現状と課題【今後の課題は】	-	地籍調査に関する記載を追加		◇2つ目 ◇全自治会が地籍調査を実施できるよう啓発活動を行う必要があります。
141	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	45	88	3 暮らしの安全・安心力アップ	2. 生活環境の整備	◆ともにもぎ評価指標◆		地籍調査に関する記載を追加		地籍調査の実施 現状値 目標値 地籍調査の実施区域 2 5/16
142	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	45	88	3 暮らしの安全・安心力アップ	2. 生活環境の整備	(1) ◆主要施策◆ 公営住宅の整備	(1) 図りながら、一定の見通しがついた時点で、改良公営住宅	記載の明確化(限定を避ける)		図りながら、改良公営住宅
143	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	45	88	3 暮らしの安全・安心力アップ	2. 生活環境の整備	(2) 上水道設備の耐震化を含めた整備	進めるため、計画の策定とその推進を図ります。	平成30年度に計画策定が完了するため		進めるため、浄水場および主要管路をはじめ、耐震化の推進を図ります。
144	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	45	89	3 暮らしの安全・安心力アップ	2. 生活環境の整備	◆主要施策◆	-	地籍調査に関する記載を追加		(4) 地籍調査の推進 ◇今後も引き続き全自治会で地籍調査が実施できるように推進を図ります。
145	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	47	90	3 暮らしの安全・安心力アップ	3. 環境保全の推進	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】	宇曾川の一斉清掃運動が、	記載の補足		宇曾川・みな川、主要道路の一斉清掃運動が、
146	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	50	92	3 暮らしの安全・安心力アップ	4. 循環型社会の形成	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】	-	生ごみ堆肥化事業に関する記載を追加		◇4つ目 ◇生ごみ堆肥化事業により、家庭から出る生ごみを減量し、堆肥化して大地に還す、循環型社会の構築を図ってきました。
147	-	事務局	Ⅲ 基本計画	52	94	3 暮らしの安全・安心力アップ	4. 循環型社会の形成	◆主要施策◆ (2) 生ごみの減量化、再資源化の推進	(二つ目◇を追加)	生ごみ堆肥化事業に関する記載を追加		◇2つ目 ◇生ごみ堆肥化事業等を通して、家庭から出る生ごみを堆肥化し大地に還すことによって生ごみの減量化を図り、循環型社会の形成を促進します。
148	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	57	99	3 暮らしの安全・安心力アップ	6. 地域安全対策の充実	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】	自治会の要望に沿って、	記載の補足		交通安全プログラムや自治会の要望に沿って、
149	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	60	102	4 まちの魅力と活力アップ	1. 農業の振興	現状と課題【これまでに取り組んできたことは】	◇県の環境こだわり米づくりに関しては、要件的に手間がかかるため、取組者が減る傾向にありますが、こだわり米づくりの取組自体は環境や品質に配慮されたよい取組であると考えます。	記載の明確化		◇4つ目 県の環境こだわり米づくりに関しては、取組要件があり、労力が必要ではありますが、環境や質に配慮された良い取組です。町としても農業者への支援をしています。
150	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	63	105	4 まちの魅力と活力アップ	2 観光の振興	現状と課題【まちをとりまく動向は】	2,000万人	数値修正		4,000万人

No.	会議	発言者	部	旧頁	新頁	章	か所	項目	(素案) 修正前	意見	意見に対する方向性(案)	修正後
151	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	64	106	4 まちの魅力と活力アップ	2 観光の振興	(1) ◆主要施策◆ 多様な観光資源を活用した観光振興と情報発信	インバウンド観光の受け入れ、もてなしとして、	語句修正		インバウンド観光の受け入れ、もてなしとして、
152	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	70	114	5 住民直結の行政力アップ	1. 情報共有と住民参画の推進	(1) ◆主要施策◆ 情報公開と情報共有の推進	ため、広報紙や町ホームページ、インターネットの活用等による広報活動の充実を図ります。	語句修正		ため、広報紙や町ホームページ、ICTの活用等による広報活動の充実を図ります。
153	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	71	116	5 住民直結の行政力アップ	2. 持続可能な行政経営の推進	現状と課題 【これまでに取り組んできたことは】	職員研修については、人権研修や人事評価制度研修、コンプライアンス研修、ディベート研修、認知症キャリアメンメイト研修等を行っており、対象となる職員はおおむね受講している状況です。	記載の明確化		◇3つ目 職員研修については、人権研修や人事評価制度研修、コンプライアンス研修、ディベート研修等を行っています。
154	-	各課ヒアリング等庁内会議	Ⅲ 基本計画	72	117	5 住民直結の行政力アップ	2. 持続可能な行政経営の推進	(2) ◆主要施策◆ 地方創生に対応できる人材の育成	地域協働の取り組み等を進めるとともに、政策形成能力の向上をはじめ職員の人材育成を計画的に進め、極力職員数の抑制に努めます。	記載の明確化		地域協働の取り組み等を進めるとともに、政策形成能力の向上をはじめ職員の人材育成を計画的に進めます。